



# 笹小だより

No. 6

平成30年9月28日

横浜市立笹野台小学校

## 「スポーツから学ぶこと」

校長 飯田 雅人

厳しかった暑さもやっと収まり、体を動かすのによい季節となってきました。笹野台小学校の地域では、連合自治会の皆様のスポーツを通しての交流が盛んです。私たち教職員も、ソフトボール大会、インディアカ大会等に参加させていただき、お互いを励まし合ったり、応援し合ったりとチームとしての一体感を味わうことができる貴重な機会とさせていただいています。明日開催予定の笹野台地区スポーツ推進委員連絡協議会主催の体育祭にも、地域の皆様の元気に負けないよう、教職員一同はりきって参加させていただきたいと思います。

さて、今年はサッカー、ロシアワールドカップの日本代表の活躍に始まり、ジャカルタで行われたアジア大会での水泳、池江璃花子選手の6冠達成、テニスでは、全米オープンでの錦織 圭選手と大坂なおみ選手のアベックベスト4、そしてさらには、大坂選手のテニス四大大会での日本人初優勝など、日本スポーツ界で活躍する選手が、世界でもその活躍の結果を残すことができる場面が多く、応援に熱が入った方も多いのではないのでしょうか。その中で、今回のサッカーワールドカップ日本代表のキャプテンとして活躍した長谷部 誠選手は、ある本の中でこんなことを言っていました。“浦和レッズ在籍時に、6つのタイトルをとった時、試合終了時にピッチに立っていたのは僕だけでした。取材などで「長谷部さんは、運がいいですね。」と言われることがある。確かにそれは事実だけれど、どこかしっくりこない。「経営の神様」と呼ばれる松下幸之助さんが言うように、運というのは自分が何か行動を起こさないと決してこないものだと思っているからだ。さぼっていたら、運なんてくるわけがない。普段からやるべきことに取り組み、万全の準備をしていれば、運が巡ってきた時につかむことができる。多分、運は誰にでもやってきて、それを活かせるか、活かさないのかは、それぞれの問題なのだと思う。逆に「運が悪かった」とも思わない。結果が悪かった時は、「運」を味方につける努力が足りなかったのだと思っている・・・。” さすがは、一流選手の考え方は、違うなと思いました。

先日の朝会では、市の水泳大会の時にゲストとして招かれた過去4大会のパラリンピックで、15個の金メダルを獲得した川崎市出身の成田真由美選手のメッセージを、私から子供たちに話しました。“成田選手は、小学生の頃、水泳が大の苦手で全く泳ぐことができなかつたそうです。あることがきっかけで、たまたま友達に誘われたことから水泳を始め、今では、「パラリンピック界の水の女王」とまで言われるようになったそうです。成田選手からのメッセージは、「チャレンジしなければ、何事も起こらない。」というものでした。”

笹小の子供たちは、「元気いっぱい やさしさいっぱい 笑顔いっぱい」の素敵な子供たちです。4月から子供たちの様子を見てきて、あとは、「力強さ」とか、「たくましさ」というものが表出できるようになると、さらにいいなと思っています。今後とも、保護者の皆様や地域の皆様からも子供たちへの励ましの声かけを、ぜひよろしくお願い致します。